

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901779		
法人名	有限会社 パートナーステーション		
事業所名	グループホーム 和が家		
所在地	北海道旭川市春光台5条3丁目7-24 (電話) 0166-52-0755		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月1日	評価確定日	平成20年3月12日

【情報提供票より】(平成20年1月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年7月20日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	21人	常勤17人, 非常勤4人, 常勤換算	11.07人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000円	その他の経費(月額)	17,000~24,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	400円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(1月28日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	6名	要介護4	6名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 84歳	最低	69歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	春光台クリニック・村井内科クリニック・こかど歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設長、職員は常に理念に基づいて業務に専念している。職員間の連携やケアにおける周知への徹底が図られ、家族はもとより入居者の安全・安心・快適な生活が守られている。前庭には花壇や数種のウサギなどの小動物を飼われ、ベンチを置き地域住民と自然な形で接点もたれている。ホーム内は吹き抜けで天窓があり、自然な陽光が射し込んでいる。とりわけ浴室からのロケーションは素晴らしく、山並みなどの自然が四季を感じる。ケアの処遇にあってはチームケアに徹底計画・実行・検証・改善がサイクル化され、家族や地域の方々の期待に応えている。また、障がい者を雇用するなど障がい者自立支援も視野に入っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回、地域の人の認知症に対する理解の深まりが必要とされていましたが、施設長が地域の商工会で意見交換を行ったり、建物前に小動物たちがいることで地域の方たちが気軽に立ち寄り、玄関前の広場が「いいいの場」となっているなど地域の人たちとの良い関係が自然な形で「認知症」への理解につながっています。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は各ユニット別に全職員が参画して取り組まれており、ケアの質を高められています。職員会議・家族会・運営推進会議などの機会を利用し、自己評価及び外部評価の重要性を確認し合い、理解が深められています。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議の進め方や議題の持ち方が発展的であり、用意する資料も極めて丁寧なものになっており、行政はもとより地域住民や他業種の方々にも広めるなどグローバルな連携の姿勢がうかがえた。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>定期的に発行されている「和が家の新聞」はレイアウトが素晴らしく、入居者の日常生活の行為がつぶさに紹介、工夫されている。4ページの巻末の編集後記では、施設長の問題点から目を背けない考え方が載っており、更に認知症ケア専門士も育成し家族の不安感への対応がなされている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>生まれ育った地域であり、住民とは既に馴染みの関係ができています。菜園や花壇などでボランティアの協力が得られ、納涼会などの行事には多くの町内会の方も参加されている。運営推進会議でもホームと地域のかかわりについて話し合われている。また、施設長は地域の町内会や商工会で積極的な意見交換もなされている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	施設長を中心に職員が「自分たちが入りたいところ」を理想とし、「ゆったり、自由に」をホーム独自の理念としており、職員においても各自意識されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、ミーティング時に理念を唱和し、管理者・職員間で共有しており、理念と日々の生活の一致を目標とし実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	建物前に小動物を飼っていることから、地域の方や子供たちが見に来たり、餌を持って来てくれるなどし、また近所の方たちの花の苗の提供で花壇が飾られるなど、地元の人々と温かみのある交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、それらを運営推進会議や家族会などで話し合い、日々の業務の中で様々な取り組みに活かされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	定期的に運営推進会議が開催され、議題についても「和が家の暮らしと家族・地域との関わりについて」などがあげられ、運営推進会議の意義の説明や意見交換が行なわれている。また、内容により様々な方の参加により、サービスの向上にも活かされている。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	減免制度やグループホームの問題などについて市と協議を行ったり、講習、相談、市からの依頼による実習の受け入れなど、連携が持たれ、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	家族の訪問時にはその都度報告しており、その他年4回発行されている、「和が家の新聞」では本人の様子と行事での写真やイラストで見やすく紹介され、家族が安心できる内容で報告されている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	目安箱の設置、家族会等での意見、また家族の訪問時には、こまめに声かけを行い直接意見・要望などを聞き、それらを運営に反映させている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	施設長は職員の離職する状態を回避するために働きやすい環境づくりに努めており、職員の異動や離職なども安定している。ユニット異動の際においてもホーム長は入居者へのダメージを防ぐよう細心の配慮がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長は日頃より職員の考え方などを細かく聞き、研修などでは知識又課題を見つけてもらい、それらをより質の高いケアの実践に向けられるよう話し合わせられ運営に反映されている。業務OJTを実施するなど職員の育成にも取り組まれている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設長自らがグループホーム協議会に関わり、他事業者との交流や勉強会など積極的に行われており、サービスの質の向上にも反映されている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	何度か見学してもらったり、日中ホームで過ごしてもらいながら職員や入居者そして、場の雰囲気に徐徐に馴染めるように配慮されている。職員が本人の所に出向き馴染みの関係を築きながら家族とも相談し、工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常の行為や遊びを通して一緒に過ごすほか、畑作りや小動物の世話などでも本人から学び、ホームでの生活そのものが支えあう関係の場となっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員全員が1人ひとりの生活歴を通し、本人の気持ちをより深く知ることが出来るよう、本人・家族に対し声かけを丁寧に行い、思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	定期的に評価・見直しも行われ、家族と連携を取りながら本人にも話を聞き、要望を出してもらうなど介護計画に反映している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	定期的な見直しと都度体調の変化に応じ、スタッフ・本人・家族で話し合われ現状に即した新たな計画を作成している。更には、日常の小さな変化にも早く目をむけ見逃すことのないよう即ミーティングで話し合われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の意見を聞きながら都度、状況や要望に応じ対応している。また、施設長が地域の商工会で意見交換を行ったり、代表の方々との話し合いの中で地域の活性・振興のためにも努力されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院の医師とホーム内の看護職員との連携により、本人・家族と気軽に相談できる体制がとられ、また24時間訪問治療が可能であるなど適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期における対応についても、家族や主治医と相談し本人・家族の要望に応えられるよう積極的な話し合いが行われ、職員間でも共有されている。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	定期的に行われる職員の研修やミーティング等を通じて個人情報の保護に関する事、又は言葉使いや対応にも気を配りながら支援が行われるよう職員間で統一されている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせた過ごし方に職員があたりまえのように寄り添い、ごく自然な形で支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1人ひとりにできることの準備に参加してもらい、食事は職員も一緒に摂り、和やかな雰囲気を楽しめる支援や味付けの工夫・配慮もされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴室からは素晴らしい景色が一望でき、広々とした温泉のような雰囲気の中で、希望に応じ毎日入浴ができる体制もとられており、利用者が入浴を楽しめるよう支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	1人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごとへの支援がされており、利用者がお坊さんとして他のホームへボランティアでお経をあげに出かける方への付き添いを施設長が法衣を着るなどして支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の付き添いや見守りのもと、受診、買い物など自由な外出支援が行われている。また、年間の外出回数が極めて多く、外食、喫茶店、ロビーコンサートや各イベントなど積極的な外出支援に取り組んでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は鍵をかけないケアに取り組んでいる。施設のレイアウトが良くできており、さり気ない目配りで安全面に配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>運営推進会議で消防署職員や地域住民などにホームの防災に関する現状報告・地域連携における防災対策など話し合われており、救命・通報・避難・消火訓練が行なわれている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食卓テーブル・椅子にも配慮し、ゆったりとした食事風景でした。個別性を大切にしており、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、栄養士の指導・アドバイスのもと健康面での支援もされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全体的にゆったりスペースが確保されている中にも、入居者や職員の動線を良く考えられている造りになっている。また、自分の部屋以外で1人きりになれる場所の確保もされている。</p>		<p>想定される入居者の身体機能の低下に対応出来るよう、現在の素晴らしいステージを損ねない浴槽のアレンジを今から計画されることを期待します。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と相談し、入居の際は使い慣れたものを持ち込んでいただき自宅の延長の場となっている。ネコと一緒に入居できるのは特筆すべき点であり、本人の居心地良さを最大限に活かされている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。